



2021年11月9日

各 位

会 社 名 ケイアイスター不動産株式会社
 代表者名 代表取締役社長 塙 圭二
 (コード番号：3465 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 経理財務本部長 松澤 修
 (TEL. 0495-27-2525)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

2021年8月12日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」について連結業績予想及び個別業績予想並びに配当予想につきまして、下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

● 業績予想について

2022年3月期通期連結業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	185,000	20,000	20,000	13,000	912.58
今回修正予想 (B)	190,000	24,300	24,000	15,000	993.31
増減額 (B-A)	5,000	4,300	4,000	2,000	
増減率 (%)	2.7	21.5	20.0	15.4	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	155,753	12,561	12,781	7,616	536.69

(注) 今回修正予想の1株当たり当期純利益は、当第2四半期連結累計期間に行われた増資を勘案し、年間の期中平均株式数を予想し算定しております。

2022年3月期通期個別業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	103,000	12,500	9,000	631.79
今回修正予想 (B)	107,000	14,000	10,000	662.21
増減額 (B-A)	4,000	1,500	1,000	
増減率 (%)	3.9	12.0	11.1	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	91,982	8,805	6,074	428.06

(注) 今回修正予想の1株当たり当期純利益は、当第2四半期連結累計期間に行われた増資を勘案し、年間の期中平均株式数を予想し算定しております。

修正の理由

住宅業界は、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛に伴うライフスタイルの変化により、持家志向の高まりが継続しており供給量の不足が引き続き継続しております。一方、その持家志向の高まりを一因として、世界規模で木材の需要と供給のバランスが崩れ、いわゆるウッドショックが起き、一時的な混乱を招く場面もありましたが、現在では木材価格の上昇はあるものの供給不足は終息しつつあります。

このような経営環境の下、当第2四半期において強い需要を背景に予想していた利益率より上昇するとともに、ITインフラの活用(ミツカルプロなどの活用)により生産性が向上するなど前回予想を上回り収益性が高まりました。先行きの不透明感はあるものの足元の状況を踏まえ業績予想の修正を行うものであります。

なお、当社グループの不動産販売における売上の計上は、主に引渡基準によって行われるため、引渡時期により売上高に偏りが生じることとなります。一般的に住宅の引渡しは、上期(第1四半期から第2四半期)に比較して下期(第3四半期から第4四半期)に引渡しが行われる割合が高く、それに比例して売上高は、上期に比較して下期に高くなる傾向があります。

● 配当予想について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	—	115 00	—	115 00	230 00
今回修正予想	—	—	—	130 00	245 00
当期実績	—	115 00			
前期実績 (2021年3月期)	—	44 00	—	95 00	139 00

配当予想の理由

業績予想の修正に伴い当社配当方針に基づき配当予想を行うものであります。

(注) 上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上